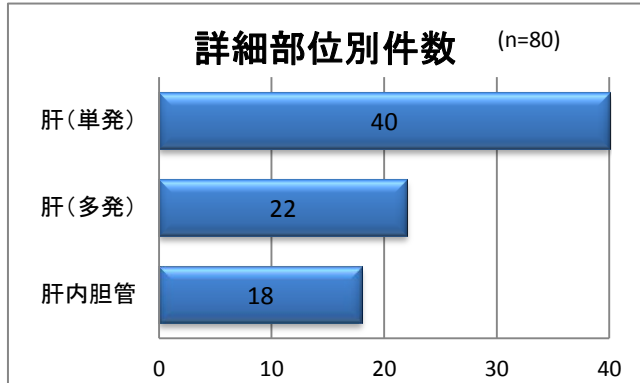
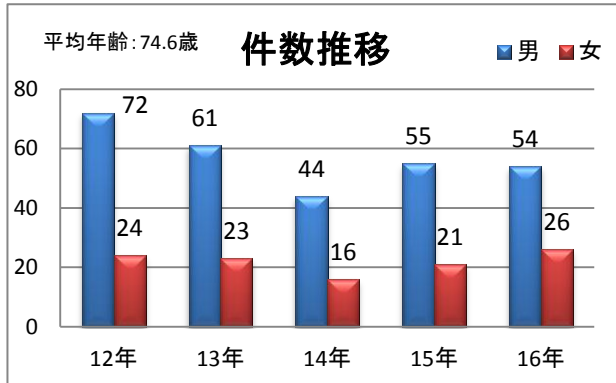
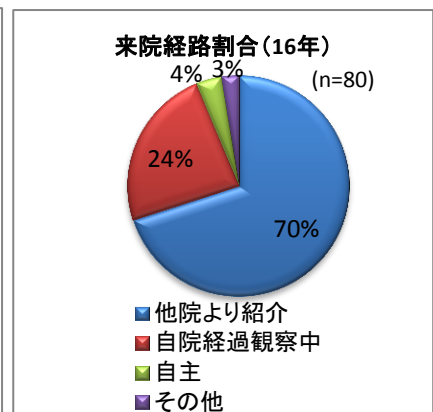
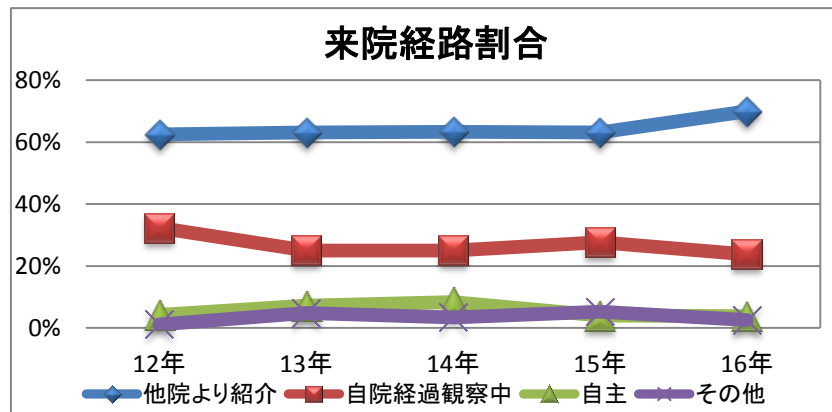


Ⅱ. 2016年集計＜部位別＞

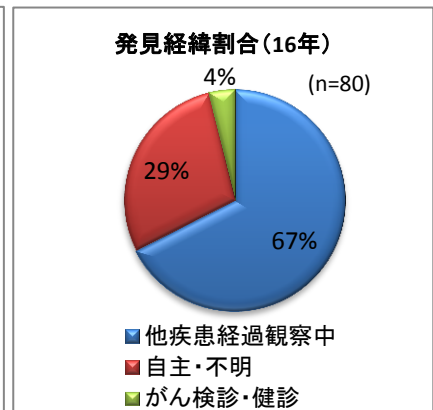
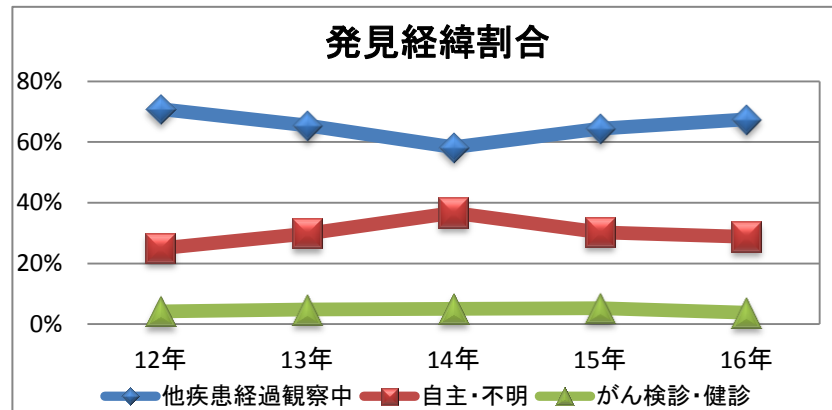
5. 肝



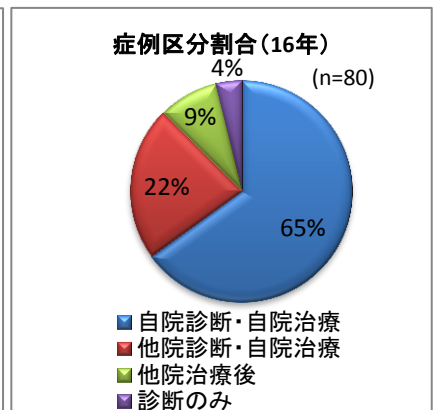
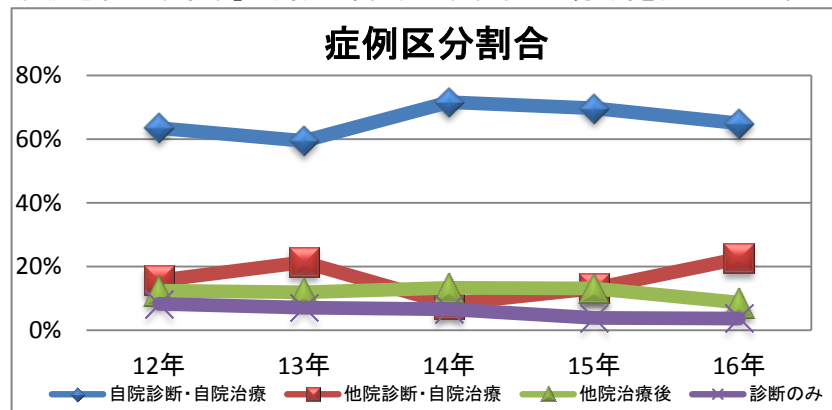
件数推移は女性の件数が増加している。詳細部位別では「肝(単発)」の件数が最も多い。



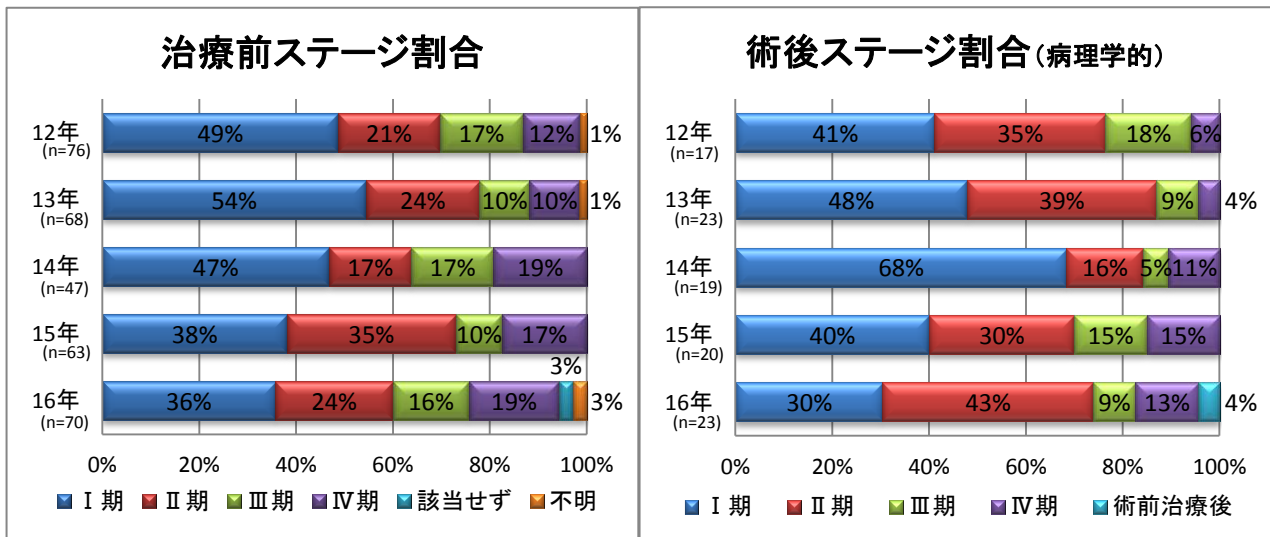
「他院より紹介」の割合が高く、16年単年では7割を占めている。



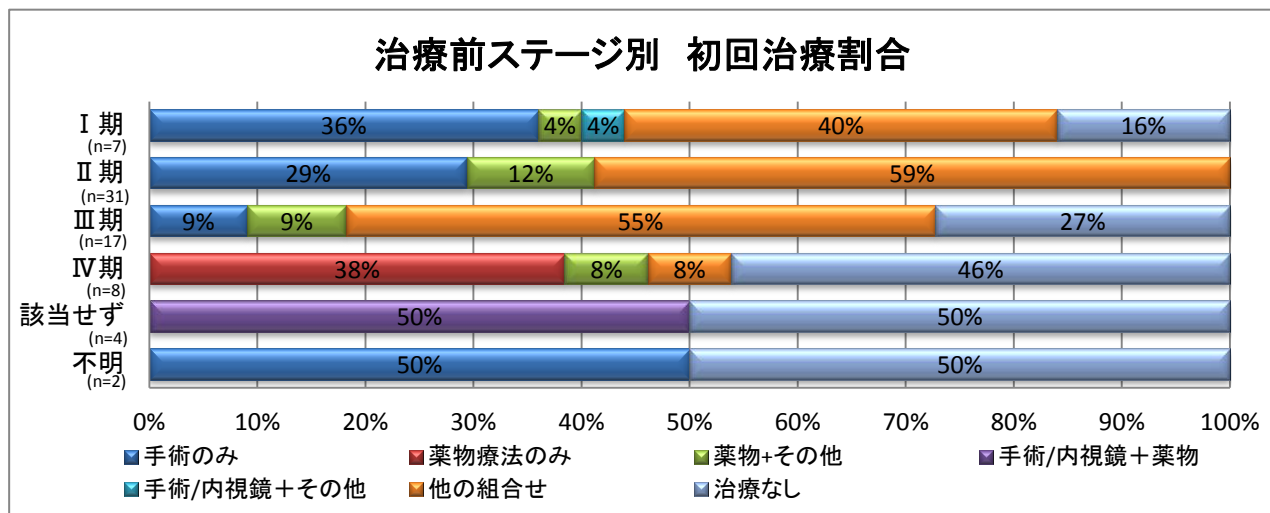
「他疾患経過観察中」の割合が高く、16年単年では約7割を占めている。



「自院診断・自院治療」の割合が高く、16年単年では約7割を占めている。



治療前ステージは「Ⅲ期」と「Ⅳ期」の割合が増加している。術後ステージは「Ⅱ期」の割合が増加しており約4割を占めている。※「術前治療後」は、多発肝がんの一部の病変にRFA(ラジオ波)治療を行った後、他の病変を切除したという症例であった。



Ⅰ期からⅢ期では「他の組合せ」の治療が最も多く、これにはRFA(ラジオ波)治療やTAE(動脈塞栓)治療を行う症例が含まれる。また、高齢等の理由により経過観察を行う「治療なし」も多くなっている。